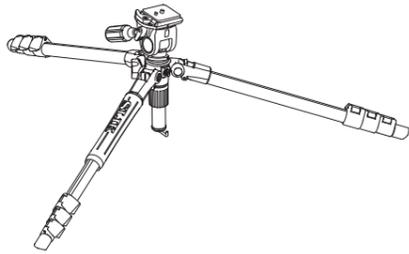
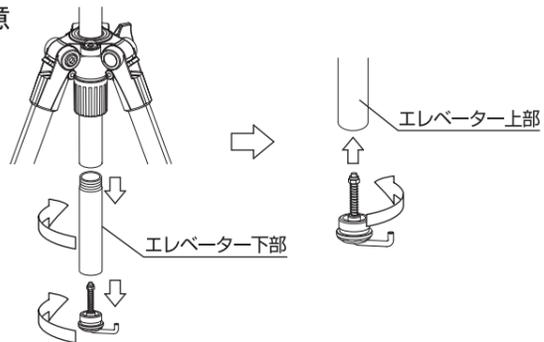


ローポジション



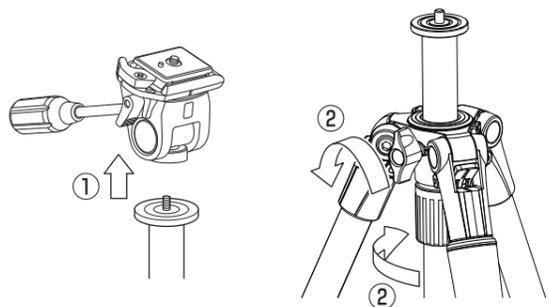
ローポジションにするときは、エレベーター下部を取り外してください。

⚠ 注意

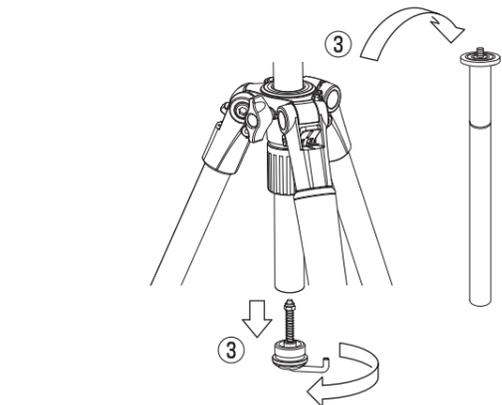


エレベーター抜け止めと、エレベーター下部を矢印の方向にねじって取り外します。
取り外したエレベーター抜け止めは、エレベーター上部の下側に必ず取り付けてください。

エレベーターの上下差しかえ

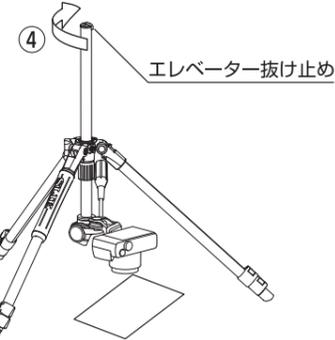


エレベーターの上下差し替えのときは、
① 必ず雲台を外してください。
② エレベーターストップとエレベーターロックナットをゆるめます。



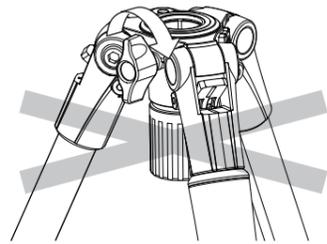
③ エレベーター抜け止めを外し、エレベーターを抜きとります。

⚠ 注意



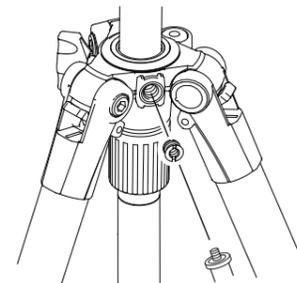
③ エレベーター抜け止めを外し、エレベーターを抜きとります。
入れかえが終わったらストップを締めつけ、落下防止のために必ずエレベーター抜け止めを取り付けてください。

⊘ 禁止



エレベーターを抜きとったままエレベーターストップを操作しないでください。
内部の部品が破損する恐れがあります。

アクセサリホール



本体側面のアクセサリホール部には、U1/4" (またはダブルネジアダプターを外すと、U3/8") ネジで、アクセサリ等を取り付けることができます。

⊘ 禁止



• 三脚や雲台各部へのオイル・グリス等の補充は絶対にしないでください。
破損、故障の原因となります。
可動部の動きが悪くなってきた場合は、お買い求めの販売店またはアフターサービスへご依頼ください。
• 火に近づけないようにしてください。
夏など高温になる車内などに長時間放置しないでください。

お手入れ

• よごれたときには、中性洗剤をやわらかな布につけてふいてください。
その後、きれいな乾いた布でふいてください。

本製品の補修用性能部品は製造中止後5年を目安に保有しております。
したがって本期間中は修理をお受けいたします。

インターネット・ホームページ <http://www.slik.co.jp/>

*改良のため、お断りなくデザイン、仕様を変更することがありますのでご了承ください。
©2022 SLIK CORPORATION

SLIK®

PloverTarsus

取扱説明書

このたびは、スリック製品をお買い求めいただきまことにありがとうございます。ご使用前にこの説明書をよくお読みいただき正しく、十分に性能を生かしてお使いください。お読みになったあとは必ず保管し、わからないときには再読してください。

⚠ 注意 このマークは取扱いを誤った場合、人が傷害を負ったり物的損害の発生が想定される内容です。

⊘ 禁止 このマークは禁止(してはいけないこと)内容です。
説明にしたがい事故のないようお使いください。

仕様

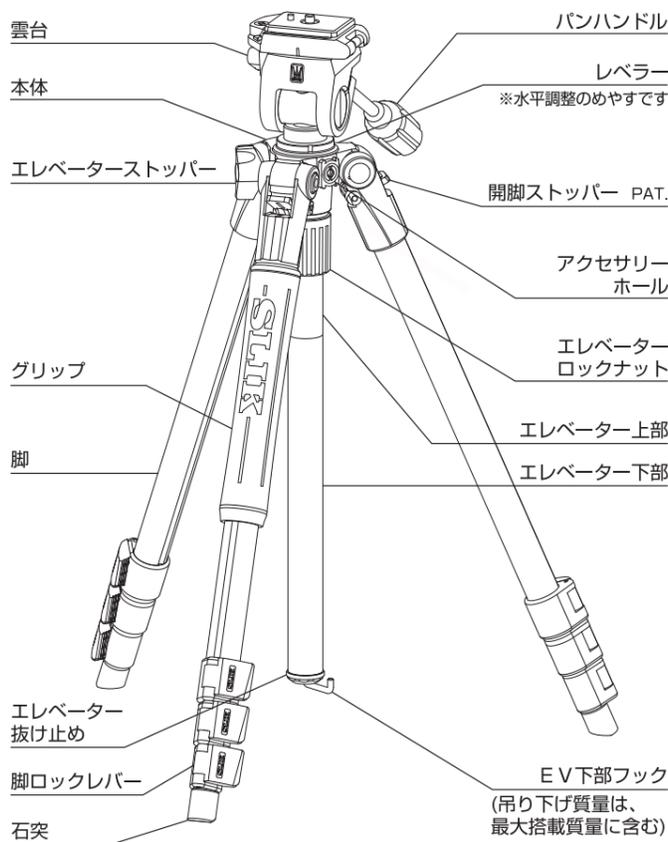
縮長	535 mm
全高	1,630 mm
EVスライド	290 mm
質量	1,785 g

W593

この三脚は、(公財)日本野鳥の会との共同開発によるものです。

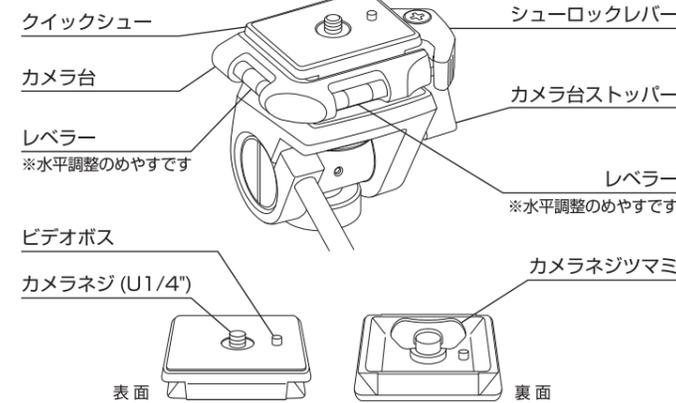
三脚ケース付

各部名称



※三脚用のレベラーは水平調整のめやすです。
カメラ内蔵のレベラーとは精度が異なります。

雲台



※三脚用のレベラーは水平調整のめやすです。
カメラ内蔵のレベラーとは精度が異なります。

搭載する機材

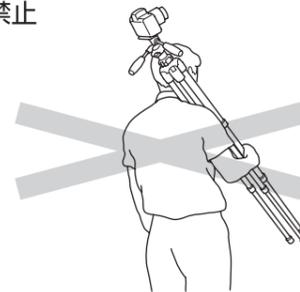
⊘ 禁止

最大搭載質量：3 kg

これ以上の機材は載せないでください。
また、上記搭載質量以下のものであっても重心位置によりバランスの取りにくいものもあります。
そのようなときは、上のクラスの三脚をお使いください。

持ち運びのとき

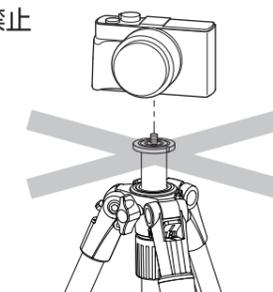
⊘ 禁止



カメラは三脚から外して持ち運んでください。
カメラの落下、使用者や周囲の人へのケガ、物損等を起こす可能性があります。

雲台取り付けネジ

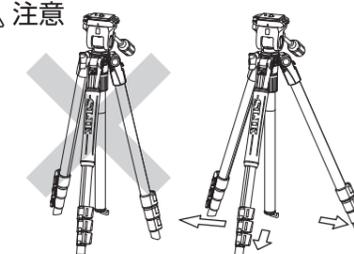
⊘ 禁止



カメラを直接エレベーターに取り付けることは故障の原因になります。
必ず雲台などを介してお取り付けください。

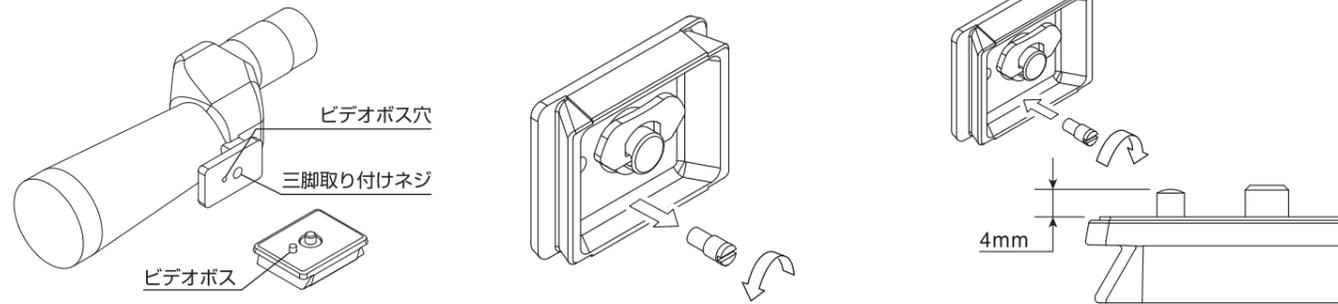
機材のセットアップ

⚠ 注意



カメラの取り付け、ハンドル、ツマミ、レバー類のロックは確実に行って、落下や転倒を防いでください。
また、3本の脚を十分に開いてください。脚の開きが不十分だと不安定でカメラブレや転倒の原因になります。

ビデオボスについて



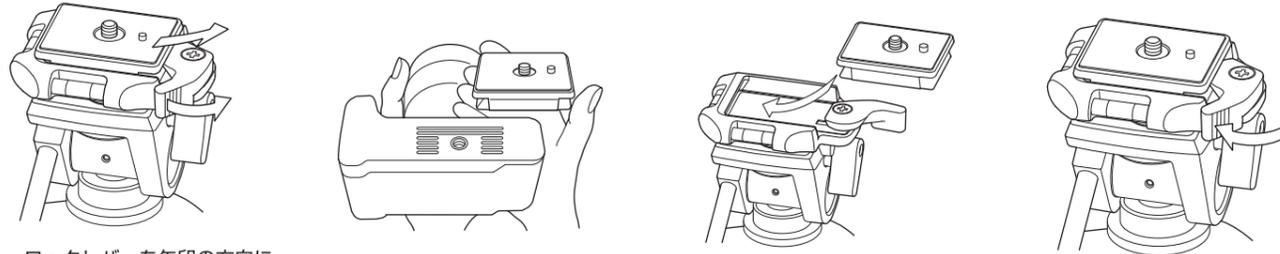
スポッティングスコープやビデオカメラなどのビデオボス穴がある機材に取り付けるときは、クイックシューのビデオボスと機材のボス穴を合わせながら取り付けてください。

ビデオボス穴が無い機材を使用する場合は、ビデオボスを矢印の方向にまわして、取り外ししてください。

ビデオボスを取り付けるときは、矢印の方向に回して取り付けてください。その際に、クイックシューの天面からビデオボスの高さが4mmになるように調節してください。

機材の取り付け方

⚠ 注意



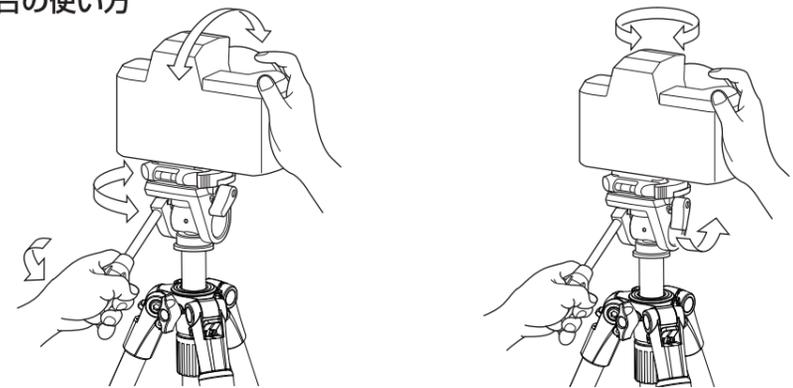
シューロックレバーを矢印の方向に起こし、クイックシューを取り出してください。このときシューロックレバーは、ストッパーにより起きた状態になっていますので、無理に戻さないように注意してください。

機材の三脚取り付けネジとクイックシューのカメラネジを合わせて、カメラネジツマミを回し、しっかりと締め付けます。

クイックシューをシューロックレバー側からセットすると、シューロックレバーは自動的に閉じます。

シューロックレバーを固定側に締めて確実に固定し、機材と雲台の固定を確認してから手を離してください。

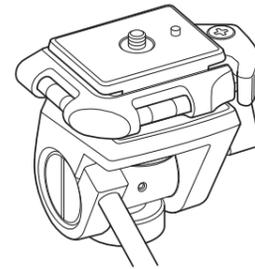
雲台の使い方



パンハンドルをゆるめると、雲台は前後・左右方向へ回転します。一つのパンハンドルで二つの動作が同時に出来ます。

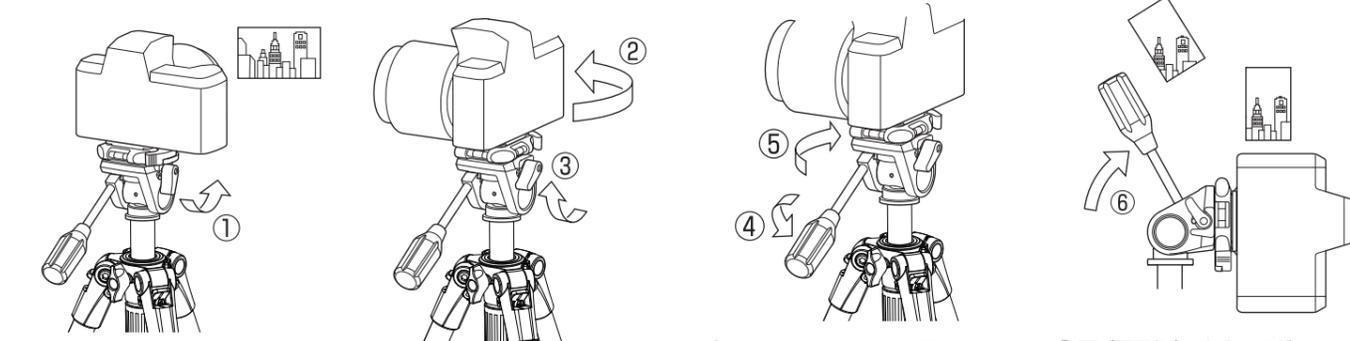
カメラ台ストッパーをゆるめるとカメラ台はフリーになり、360°回転します。

レバー



カメラ台のレバーを使用すると、水平出しの目安とすることができます。

縦位置の出し方



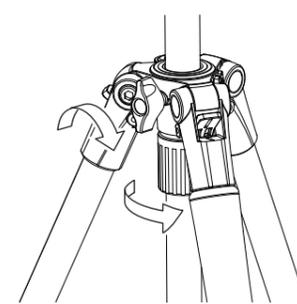
① カメラ台ストッパーをゆるめます。

② 正面向きのカメラを真横に向けます。③ カメラ台ストッパーを締め付けます。

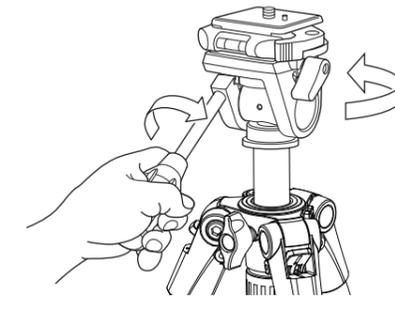
④ パンハンドルをゆるめて、⑤ カメラが正面を向くように雲台全体をまわします。

⑥ 再び正面を向いたカメラが縦位置になるように、パンハンドルを操作します。

雲台の取り外し

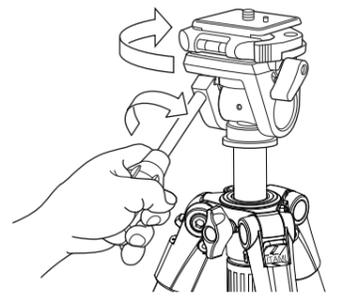


他の雲台やアクセサリをこの脚に取り付けるときは次の方法で交換してください。初めに三脚のエレベーターストッパーを締め込みます。



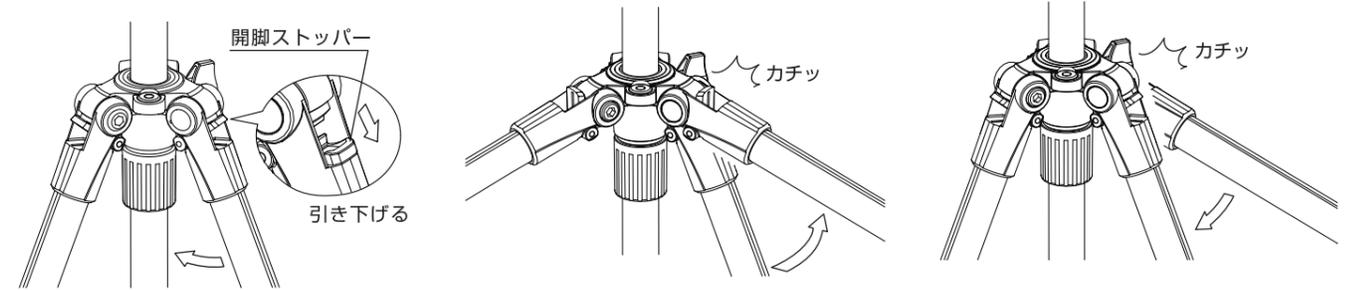
次に、雲台のパンハンドルをしっかり締め込み、パンハンドルを握って力強く雲台を反時計まわりにまわすと雲台がゆるみます。

雲台の取り付け



雲台(アクセサリ)と三脚のネジを合わせます。雲台を時計まわりに止まるまでまわします。パンハンドルをきつく締め込んで、さらに時計まわりにねじ込みます。パンハンドルをゆるめてから使用してください。

開脚角を変える PAT

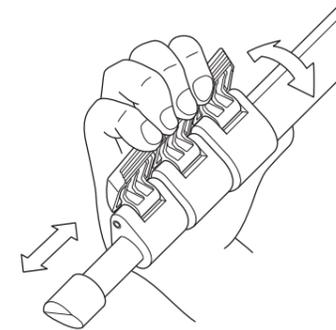


標準の開き位置から脚を少し閉じてから、開脚ストッパーを引き下げます。

脚をゆっくり引き上げて行くと開脚ストッパーがカチッと鳴ります。さらに脚を止まるまで引き上げた所がローポジションです。

さらに脚を閉じて行くことで、ミドルポジション、標準開脚の順に調整することができます。

脚の伸縮

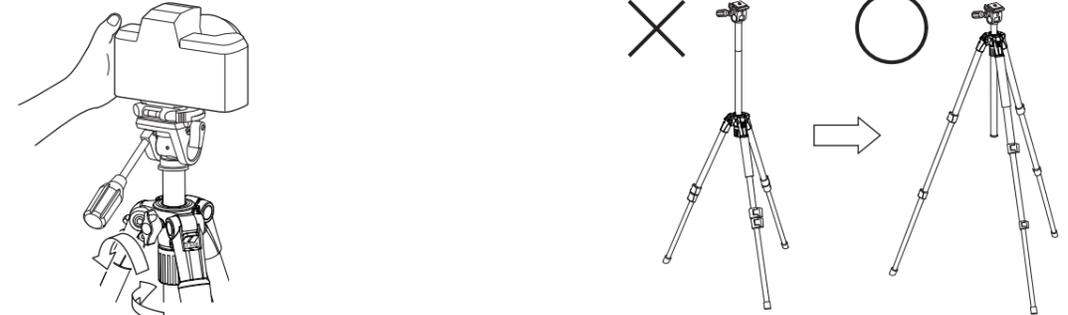


脚ロックレバーを開くと脚は伸縮できます。希望の位置でレバーをしっかりロックしてください。太いパイプを優先してご使用になるとグラつきが少なくなります。



脚を閉じた状態で石突を下に向けて操作すると、扱いがらくです。

エレベーターの使い方



雲台に手をそえてエレベーターストッパー、エレベーターロックナットの順にゆるめます。雲台を上下させて位置が決まったら、手を離す前にしっかりとエレベーターストッパー、エレベーターロックナットを締めてください。

ブレ防止のため、エレベーターはなるべく短くしてご使用ください。また、脚は太いパイプを優先してお使いください。